

CAR SECURITY SYSTEM  
**TRAP**  
 TP-230 Series

製造・販売元  
**フジ電機工業株式会社**  
<http://www.fuji-denki.co.jp>

本社 〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目6番16号  
 TEL 06-6358-4409(代) FAX 06-6358-1880  
 春日工場 〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村530  
 TEL 0795-74-2177 FAX 0795-74-2187

Theft [盗難]

Repulse [撃退]

Alarm [警報]

Protection [防衛]

# TRAP

CAR SECURITY SYSTEM

## TP-230 Series 取扱説明書

この度は、ブルコンTRAPシリーズをご購入して頂き、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分に活用して頂く為に取扱説明書をお読みになり、ご理解頂いた上で、正しくお使い下さい。この取扱説明書は必ず大切に保管して下さい。

はじめに

■ 必ずお読み下さい	1
■ 使用上のご注意	2
■ 商品付属構成	3
■ センサー概要	4
■ セキュリティをセットする (ロック時にハザードが点滅する場合、点滅しない場合共通)	5
■ センサーカットモードでセキュリティをセットする (ロック時にハザードが点滅する場合、点滅しない場合共通)	6
■ 車両異常警戒中	7

基本操作

■ 別売オプションセンサー取り付け時の車両異常警戒中	8
■ セキュリティをアンセットする(アンロック時にハザードが点滅する場合)	9
■ セキュリティをアンセットする(アンロック時にハザードが点滅しない場合)	10
■ 警報履歴	11
■ ミュート機能	12
■ サイレント機能設定方法	13
■ システムON・OFF機能設定方法	14
■ エンジンスターター取り付け車について1	15
■ エンジンスターター取り付け車について2	16

応用操作

■ ディップスイッチ設定詳細(仮アンセット機能設定等)	17
■ 不正アンロック警報機能について	18
■ 振動センサー感度調整方法	19
■ 強制解除方法	20

その他

■ 別売オプション紹介	21
■ トラブルシューティング 1	22
■ トラブルシューティング 2	23
■ トラブルシューティング 3	24
■ トラブルシューティング 4	25
■ トラブルシューティング 5 / 修理・点検依頼書兼要望書 表面	26
■ 仕様 / 修理・点検依頼書兼要望書 裏面	27
■ 基本操作・各設定方法早見表	28
■ MEMO	29
■ アフターサービス	30

この取扱説明書には、本製品を安全にご使用頂き、お客様や取り付け時の危害や損害を未然に防止するために、色々な注意事項を表示しております。又、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を「警告」・「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。その表示内容は下記の様になっております。内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 本製品について

本製品は高性能な自動車盗難発生警報装置であって盗難防止器ではありません。万一、盗難事故やいたずら等による損害等が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。又、本製品及び本製品の別売オプションの仕様・デザイン等は予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

本製品は道路運送車両法の新保安基準(2006年7月1日施行)に適合する製品ですので2006年7月1日以降(軽車両は2008年7月1日以降)の初年度登録車両にも対応しております。

### JAAMA登録証明書について

同梱されているJAAMA登録証明書には**必ず取り付け作業日、取り付け販売店及び取り付け責任者の記入又は捺印が必要となります**。無い場合、車検等に通らない場合がありますのでご注意下さい。

### 保証書について

同梱されているアンケートハガキの保証書には**必ず購入日及び取り付け販売店の記入又は捺印が必要となります**。無い場合、有償保証になりますのでご注意下さい。

### アンケートハガキについてご協力をお願い

同梱されているアンケートハガキはご回答頂きポストへご投函下さい。(切手不要)  
今後の製品開発及びサービス向上の参考の為、お手数ですがご協力お願い致します。  
お客様の個人情報「個人情報保護法」に基づき保護されていますので弊社でのサービス活動(製品開発の為に統計的分析や点検・修理等)以外で使用する事はありません。

## **警告**

**以下の警告文を無視し、使用を続けると火災・感電・故障・事故の原因となります。**

- ▼ 各種ユニットを分解したり、改造したりしないで下さい。
- ▼ 運転中に各種ユニットの取り付け及び取り外しを行わないで下さい。
- ▼ 各種ユニットに水が入らない様にして下さい。万一、水が入った場合は直ちに使用を中止し保証書と一緒に弊社までお送り下さい。
- ▼ 各種ユニットから煙又は異臭・異音がする場合、直ちに使用を中止し保証書と一緒にご購入の販売店又は、弊社までお送り下さい。
- ▼ 各種ユニットの配線、取り付け及び使用を誤ると車両の装置、機器類を破損又は、損傷する恐れがありますのでご注意下さい。
- ▼ 本製品には指定された別売オプション以外取り付けをしないで下さい。他製品の別売オプションを取り付けられ本製品及び車両や他製品が故障した場合、一切の責任を負いかねます。

## **注意**

**以下の注意文を無視し、使用を続けると誤作動・故障の原因となります。**

- ▼ 車内に生物(人間・ペット等)がいる状態で本製品を使用しないで下さい。
- ▼ 本製品はロードスター型・コンバーチブル型・可動式ルーフパネルを有する車両には取り付け出来ません。
- ▼ 車両バッテリーが弱っている状態及び車両機能に異常がある場合、本製品を使用しないで下さい。車両機器及び本製品に影響を与える恐れがあります。
- ▼ 各種ユニットの誤った取り付け及び誤った使用方法による事故等に関しては、弊社では一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。
- ▼ 別売オプションを増設する際、消費電流(待機時)の合計値が30mAを超えない様にして下さい。30mAを超えた状態で使用されますと新保安基準(車検時)に適合しなくなりますのでご注意下さい。
- ▼ 各センサーは車両の大きさや車両周辺環境によって感度が異なる場合がありますので予めご了承下さい。
- ▼ アンサーバック商品(ドアロック時等、ハザードランプを点滅させる商品)と併用して本製品を使用しないで下さい。セキュリティ機能が損なわれる恐れがあります。
- ▼ エンジン始動中(ターボタイマー及びエンジンスターター作動中)は車種によって純正キーレスエントリーリモコンが利かない又はアンサーバック(ハザード点滅)が無い場合がありますのでご注意下さい。

## — 商品付属構成 —

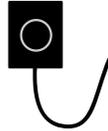
3

開封後、取付作業前に必ず同梱部品の不足が無いチェックして下さい。

メインユニット



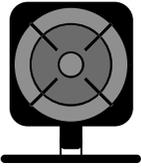
強制解除スイッチ



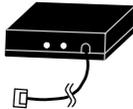
標準LED



サイレン



振動センサー



クリスタルスキャナー



### その他同梱部品

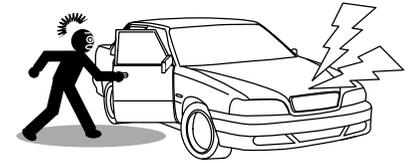
- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書 × 1              | <input type="checkbox"/> ワンタッチ電源大・小           |
| <input type="checkbox"/> 取付説明書 × 1              | <input type="checkbox"/> メインハーネス × 1          |
| <input type="checkbox"/> アンケートハガキ(保護シール付) × 1   | <input type="checkbox"/> 予備線 × 1              |
| <input type="checkbox"/> JAAMA認定証明書 × 1         | <input type="checkbox"/> 両面テープ × 3(大・中・小各1)   |
| <input type="checkbox"/> JAAMA認定シール × 1         | <input type="checkbox"/> クリスタルスキャナー用両面テープ × 2 |
| <input type="checkbox"/> 自動車盗難発生警報装置装着車シール 2枚1組 | <input type="checkbox"/> インシュロック × 4(大2 中2)   |
| <input type="checkbox"/> サイレン用3PINコネクタ(メス) × 1  | <input type="checkbox"/> 分岐タップ × 6            |
| <input type="checkbox"/> 標準LED用2PINコネクタ(メス) × 1 | <input type="checkbox"/> ダイオード × 5            |
| <input type="checkbox"/> サイレン用固定ステー × 1         | <input type="checkbox"/> サイレン固定用ピアスピス × 2     |
| <input type="checkbox"/> クリスタルスキャナー用固定台 × 1     |   |

## — センサー概要 —

4

### ・ドアスイッチセンサー

ドアの不正開放を検出し、警報を行います。



- ・空圧センサー (TP-230VAのみ標準)  
車内の空圧変化を検出し、警報を行います。

### ・振動センサー

車体への衝撃を検出し、衝撃の強弱によって威嚇・警報を行います。

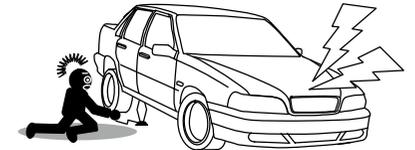


待機時消費電流 約1mA

### 別売オプションセンサー (詳細はP21「別売オプション紹介」参照)

### ・傾斜センサー

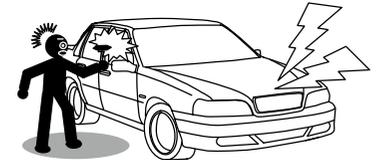
車両の傾きを検出し、警報を行います。  
駐車時の車両角度を記憶していますので傾斜地に駐車しても問題はありません。



待機時消費電流 約1.7mA

### ・サウンドセンサー

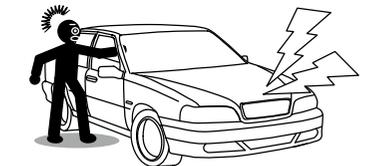
窓ガラスへの異常を検出し、警報を行います。



待機時消費電流 約2.9mA

### ・人体センサー ※2個セット

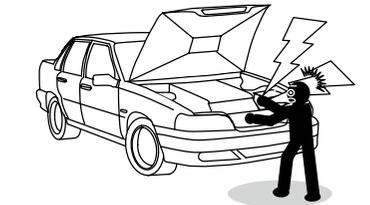
車両への不正侵入を検出し、警報を行います。



待機時消費電流 1個 約0.5mA

### ・ボンネットピンスイッチ

ボンネットの不正開放を検出し、警報を行います。



### ⚠ 注意

- ・各センサー及びユニットを取り付けされる場合、本製品の待機時消費電流合計値が30mAを超えない様にして下さい。30mAを超えた状態で使用されますと新保安基準(車検時)に適合しなくなりますのでご注意下さい。

## — セキュリティをセットする — (ロック時にハザードが点滅する場合、点滅しない場合共通)

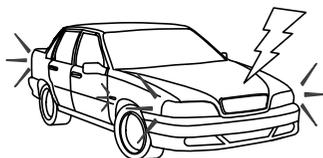
### ■ セキュリティをセット(警戒状態)する

全てのセンサーで車両警戒を行います。  
エンジンを停止して降車した後、全てのドア及び窓等が閉まっている事を確認してから下記の操作を行って下さい。

5



純正キーレスエントリーリモコンの  
ロックボタンを押す

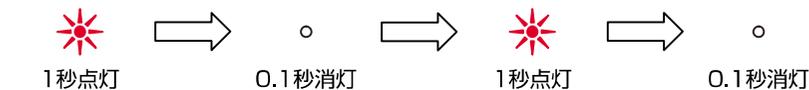


ドアロックとほぼ同時にサイレンが1回吹鳴し、標準LED  
及びクリスタルスカナーが点滅開始(注意参照)

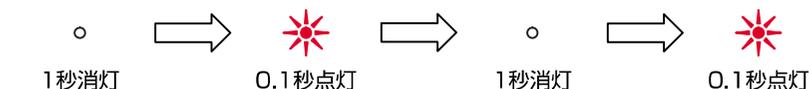
※上記説明はロック時にハザードが点滅する車種の場合の説明です。

標準LED及びクリスタルスカナーの動作内容

キャンセルタイム時(30秒間又は15秒間点滅)



スタンバイ時(点滅)



上記動作が確認出来ましたらセキュリティセット完了です。

**ワンポイント…一時的にシステムをOFF(ロックのみ)にしたい場合**

キャンセルタイム中にアンロックを行い、3秒以内に再度ロックする事で一時的にシステムをOFFにする事が出来ます。(完全にシステムをOFFにする場合はP14「システムON・OFF設定方法」を参照して下さい。)

### ⚠ 注意

- ・ロック時とセキュリティセットのタイミングは車種により誤差がありますので予めご了承下さい。
- ・ハザード入力線のみの配線をされている場合、ハザードが1秒以内で連続点滅するとセキュリティはセットされませんのでご注意下さい。
- ・ハザード点滅がロック・アンロックに連動しない車種でロック・アンロックの入力配線を行う場合や連動する車種でも併用してロック・アンロックの入力配線を行う場合は、必ずメインユニットのディップスイッチ2番をONに設定して下さい。設定を行わないと正常に動作しませんのでご注意下さい。(P17「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・サイレント機能設定をON設定されている場合、セット時の確認音は鳴りません。(P13「サイレント機能設定方法」参照)
- ・エンジン作動中はセキュリティがセット出来ませんのでご注意下さい。
- ・ターボタイマー取り付け車の場合、ターボタイマー停止後にロック操作を行って下さい。

## — センサーカットモードでセキュリティをセットする — (ロック時にハザードが点滅する場合、点滅しない場合共通)

### ■ センサーカットモードでセキュリティをセット(警戒状態)する

センサーカットモードはドアスイッチセンサーのみで車両警戒を行います。  
立体駐車場等、環境によって各センサーを反応させたくない場合に有効的です。  
エンジンを停止して降車した後、全ての窓等が閉まっている事を確認してから下記の操作を行って下さい。

6

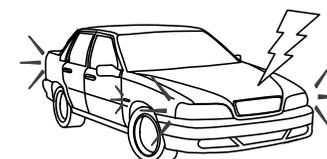


強制解除スイッチを1回押す

この時、標準LED及びクリスタルスカナーが30秒間点滅します。  
その間にドアを閉め、次の操作を行って下さい。



純正キーレスエントリーリモコンの  
ロックボタンを押す

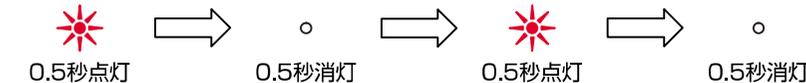


ドアロックとほぼ同時にサイレンが3回吹鳴し、標準LED  
及びクリスタルスカナーが点滅開始(P5注意参照)

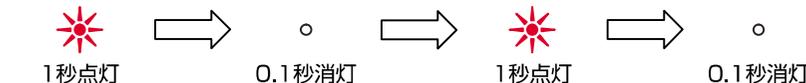
※上記説明はロック時にハザードが点滅する車種の場合の説明です。

標準LED及びクリスタルスカナーの動作内容

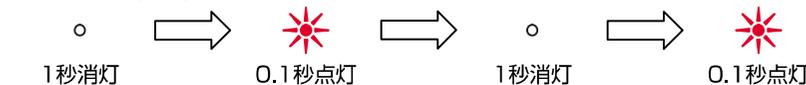
センサーカットモード受付時(30秒間点滅)



キャンセルタイム時(30秒間又は15秒間点滅)



スタンバイ時(点滅)



上記動作が確認出来ましたらセキュリティセット完了です。

**ワンポイント…一時的にシステムをOFF(ロックのみ)にしたい場合**

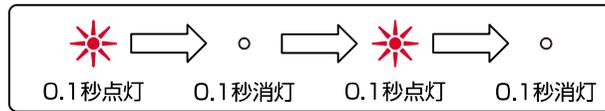
キャンセルタイム中にアンロックを行い、3秒以内に再度ロックする事で一時的にシステムをOFFにする事が出来ます。(完全にシステムをOFFにする場合はP14「システムON・OFF設定方法」を参照して下さい。)

### ⚠ 注意

※ P5の注意も参照して下さい。

- ・強制解除スイッチを押してから何も操作せずに30秒が経過しますと標準LED及びクリスタルスカナーが消灯し、センサーカットモードを受け付けなくなりますのでご注意下さい。失敗した場合はもう一度最初からやり直して下さい。
- ・センサーカットモード受付時にエンジンキーをONの位置まで回すとセンサーカットモード受付は無効になりますのでご注意下さい。

警報中の標準LED及びクリスタルスキャナーの動きは全て高速点滅になります。



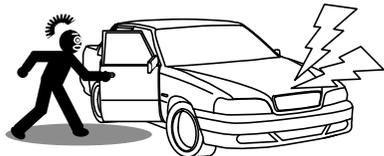
7

**注意**

- ・自動車盗難発生警報装置の新保安基準により1回のセットでセンサー(不正アンロック警報機能含む)の警報回数は10回までとなっております。(ドアスイッチセンサー、ボンネットピンスイッチ、弱衝撃の威嚇は除く)
- ・警報中のハザード点滅は行いません。

**■ ドアが開けられた時(ドアスイッチセンサー及び空圧センサー(TP-230VAのみ))**

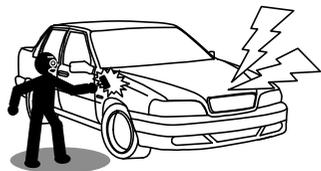
セキュリティセット中、ドアが開けられた場合、ドアスイッチセンサー及び空圧センサー(TP-230VAのみ)が検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



サイレンが約30秒間吹鳴  
標準LED及びクリスタルスキャナーが  
約30秒間高速点滅

**■ 車体に衝撃を与えられた時(振動センサー)**

セキュリティセット中、車体に衝撃を与えられた場合、振動センサーが検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。

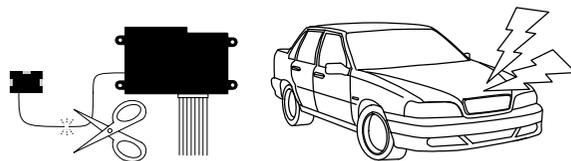


弱衝撃の場合(威嚇時)  
サイレンが約1秒間吹鳴  
標準LED及びクリスタルスキャナーが  
約1秒間高速点滅

強衝撃の場合(警報時)  
サイレンが約30秒間吹鳴  
標準LED及びクリスタルスキャナーが  
約30秒間高速点滅

**■ 信号線を切断された時**

セキュリティセット中、メインユニットと各センサー(ボンネットピンスイッチ以外のオプション含む)間を切断された場合、信号ライン切断を検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



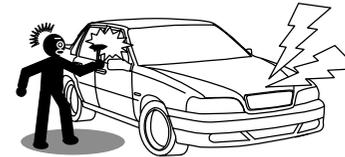
サイレンが約30秒間吹鳴  
標準LED及びクリスタルスキャナーが  
約30秒間高速点滅

※振動センサーが切断された場合は  
約1秒間

※メイン電源を切断された場合、この機能は動きません。

**■ ガラスに衝撃を与えられた時(サウンドセンサー)**

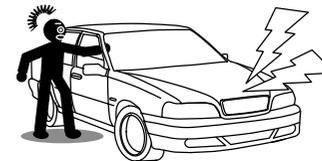
セキュリティセット中、ガラスに衝撃を与えられた場合、サウンドセンサーが検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



サイレンが約30秒間吹鳴  
標準LED及びクリスタルスキャナーが  
約30秒間高速点滅

**■ 車内に侵入された時(人体センサー)**

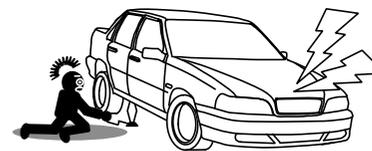
セキュリティセット中、車内に不正侵入された場合、人体センサーが検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



サイレンが約30秒間吹鳴  
標準LED及びクリスタルスキャナーが  
約30秒間高速点滅

**■ ジャッキアップされた時(傾斜センサー)**

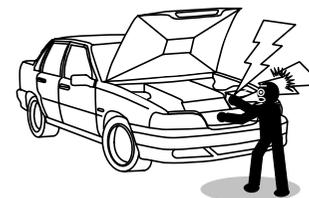
セキュリティセット中、ジャッキアップされた場合、傾斜センサーが検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



サイレンが約30秒間吹鳴  
標準LED及びクリスタルスキャナーが  
約30秒間高速点滅

**■ ボンネットを開けられた時(ボンネットピンスイッチ)**

セキュリティセット中、ボンネットを開けられた場合、ボンネットスイッチが検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



サイレンが約30秒間吹鳴  
標準LED及びクリスタルスキャナーが  
約30秒間高速点滅

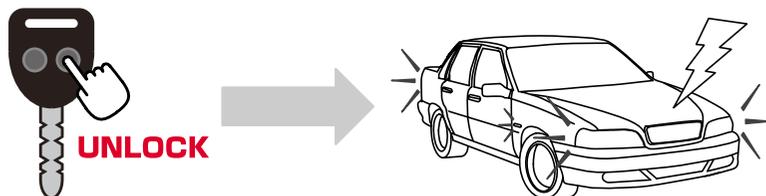
8

－ セキュリティをアンセットする（アンロック時にハザードが点滅する場合） －

■ セキュリティをアンセット（解除状態）する

セキュリティの解除を行います。

アンロック時にハザードが点滅する車両は下記の操作を行って下さい。



純正キーレスエントリーリモコンの  
アンロックボタンを押す

ドアアンロックとほぼ同時にサイレンが2回  
吹鳴し、標準LED及びクリスタルスキャナ  
ーが消灯し、その後警報履歴を表示  
(注意参照)  
※警報履歴はP11「警報履歴」を参照

⚠ 注意

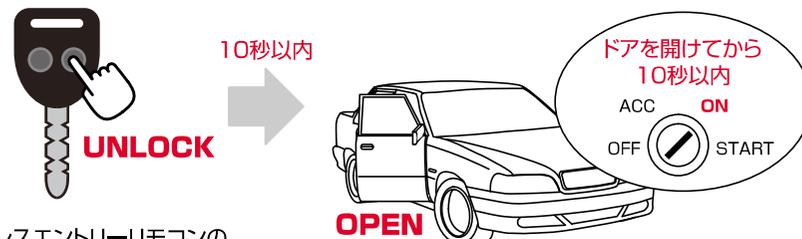
- ・アンロック時とセキュリティアンセットのタイミングは車種により誤差がありますので予めご了承下さい。その為、アンロック後すぐにドアを開けると警報が鳴ってしまう場合がありますのでご注意ください。
- ・リロック機能(純正キーレスエントリーリモコンでアンロックした時ドアを開けなければ数十秒後に自動でロックする機能)が働く車両の場合は、セキュリティも再度セット状態になりますのでご注意ください。
- ・純正キーレスエントリーリモコンでロック・アンロックを行った時にハザードが点滅しない車種の場合はアンセット方法が異なりますのでP10を参照して下さい。(直接鍵でロック・アンロックを行う場合も同様です。)
- ・ハザード入力線のみの配線をされている場合、ハザードが1秒以内に連続点滅するとセキュリティはアンセットされませんのでご注意ください。
- ・ハザード入力配線と併用してロック・アンロックの入力配線を行う場合は、必ずメインユニットのディップスイッチ2番をONに設定して下さい。設定を行わないと正常に動作しませんのでご注意ください。(P17「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・サイレント機能設定をON設定されている場合、アンセット時の確認音は鳴りません。(P13「サイレント機能設定方法」参照)
- ・エンジンスターター取り付け車の場合、アンセット方法が異なりますのでP16「エンジンスターター取り付け車について2」を参照して下さい。

－ セキュリティをアンセットする（アンロック時にハザードが点滅しない場合） －

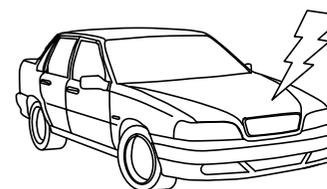
■ セキュリティをアンセット（解除状態）する

セキュリティの解除を行います。

アンロック時にハザードが点滅しない車両及び直接鍵でアンロックされる場合は下記の操作を行って下さい。(下記説明はディップスイッチ1番がOFFに設定されている場合です。)



純正キーレスエントリーリモコンの  
アンロックボタンを押す(又は直接  
鍵でアンロックを行う)



サイレンから2回吹鳴し、標準LED及びク  
リスタルスキャナーが消灯したらアンセット  
完了(注意参照)



標準LED及びクリスタルスキャナーの点滅パ  
ターンが変わり(キャンセルタイムと同じ点滅)、  
仮アンセット状態になるのでアンロック後10秒  
以内にドアを開け、更に10秒以内にエンジンキ  
ーをONの位置まで回す

※仮アンセットとは…一定時間の待機状態(セキュ  
リティが一切反応しない状態)の事であり、スタ  
ンバイ状態とは異なりますのでご注意ください。

重要

ディップスイッチ1番がONに設定されている場合は  
アンロック後、不正アンロック警報機能が働き警報が  
鳴りますのでご注意ください。(P18「不正アンロック  
警報機能について」参照)

⚠ 注意

- ・このアンセット方法はロック・アンロック入力の配線が必要になります。配線後は必ずメインユニットのディップスイッチ2番をONに設定して下さい。ロック・アンロック入力線の配線及び設定を行わないと正常に動作しませんのでご注意ください。(P17「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・リロック機能(純正キーレスエントリーリモコンでアンロックした時ドアを開けなければ数十秒後に自動でロックする機能)が働く車両の場合は、セキュリティも再度セット状態になりますのでご注意ください。
- ・アンロック後、10秒以内にドアを開け、更に10秒以内にエンジンキーの操作を行わなければ再びセキュリティがスタンバイと同時に警報しますのでご注意ください。この場合、警報終了後にもう一度最初からやり直して下さい。(純正キーレスエントリーリモコンのロック・アンロックボタンがロータリー式(1個ボタン)の場合は2回ボタンを押して下さい。(ロッカーアンロックでセキュリティ解除))
- ・セキュリティがスタンバイに戻った時にドアが開いている状態ですと警報が鳴りますのでご注意ください。
- ・このアンセット方法ではセキュリティの一部機能により履歴表示は行いません。
- ・サイレント機能設定をON設定されている場合、アンセット時の確認音は鳴りません。(P13「サイレント機能設定方法」参照)
- ・エンジンスターター取り付け車の場合、アンセット方法が異なりますのでP16「エンジンスターター取り付け車について2」を参照して下さい。

## — 警報履歴 —

セキュリティアンセット時、標準LED及びクリスタルスキャナーの点滅回数にて警報があったセンサーを確認する事が出来ます。又、信号ラインを切断された場合は、切断されたセンサーの履歴が表示されます。(優先順位の高いセンサーのみ表示され、警報が無い場合は表示されません。)

### 優先順位

1. ドアスイッチ	7回	* * * * *
2. 空圧センサー(ドア開)	6回	* * * * *
3. 人体センサー	5回	* * * * *
4. 空圧センサー(ガラス破壊)	4回	* * * *
5. 傾斜センサー	3回	* * *
6. サウンドセンサー	2回	* *
7. 振動センサー(警報)	1回	*

※履歴は2秒毎に繰り返し表示されます。

エンジンキーをONの位置まで回すか、セキュリティを再セットする事で履歴は消去されます。

### ⚠ 注意

- ・ロック・アンロック時にハザードが点滅しない車種及びエンジンスタート作動中はセキュリティの一部機能により履歴表示は行いません。
- ・エンジンキーをONの位置まで回すか、セキュリティを再セットするまでは履歴表示は消灯しませんのでご注意ください。

## — ミュート機能 —

このミュート機能はハザード入力線及びロック・アンロック入力線が配線されている場合且つディップスイッチ2番がONに設定されている場合のみ有効です。ハザード入力線だけの配線やロック・アンロック入力線だけの配線、ディップスイッチ2番がOFFの設定等ではミュート機能は働きませんのでご注意ください。

警報動作している時に純正キーレスエントリーリモコンの電波が届く範囲であれば純正キーレスエントリーリモコンのロックボタンを押すとミュート機能が働き警報動作を止める事が出来ます。警報動作を止めた後も引き続き警戒状態を維持します。

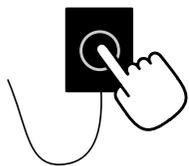


### ⚠ 注意

- ・ドアが開いている場合、純正キーレスエントリーリモコンが利かない場合がありますので必ずドアを閉めてからミュート操作を行って下さい。
- ・警報動作中に純正キーレスエントリーリモコンのアンロックボタンを押した場合でも、警報は止まりませんがセキュリティがセット状態のままアンロックになりますのでご注意ください。引き続き警戒させる場合はロックボタンを押して下さい。又、セキュリティを解除する場合はアンロックボタンを押して下さい。
- ・純正キーレスエントリーリモコンのロック・アンロックボタンがロータリー式(1個ボタン)の場合も上記と同様に警報は止まりますがセキュリティがセット状態のままアンロックになりますのでご注意ください。引き続き警戒させる場合は再度ボタンを押して下さい。又、ミュート後にセキュリティを解除する場合は2回ボタンを押して下さい。(ミュート→ロック→アンロックでセキュリティ解除)
- ・エンジン作動中又はエンジンスタート作動中は純正キーレスエントリーリモコンが利かない場合があります。この場合は、ミュート機能が働きませんのでご注意ください。
- ・ハザードが1秒以内に連続点滅している場合、ミュート機能は働きません。

## — サイレント機能設定方法 —

セット・アンセット時の確認音のON・OFF設定(ON:鳴らない状態、OFF:鳴る状態)をする事が出来ます。夜間等、セット・アンセット時の確認音を鳴らせたくない場合に設定して下さい。初期設定(工場出荷時)はOFF設定になっています。



アンセットの状態ではエンジンキーがOFF時に強制解除スイッチを5秒間長押しする

標準LED及びクリスタルスキャナーが2回点滅(サイレンは吹鳴しません)すればON設定(確認音が鳴らない状態)



ON設定

OFF設定

標準LED及びクリスタルスキャナーが1回点滅、サイレンが1回吹鳴すればOFF設定(確認音が鳴る状態)



### ⚠ 注意

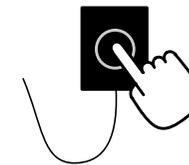
- ・上記設定はOFF→ON→OFF→ONの繰り返しになります。(1回の操作でどちらかの設定になります。)
- ・必ずセキュリティがアンセット状態の時に操作を行って下さい。
- ・システムON・OFF機能設定(P14)がOFF設定の時でも確認音の設定は出来ます。
- ・車両バッテリーを取り外されたり修理・点検等で本製品を取り外された場合は設定がリセットされますのでご注意ください。

## — システムON・OFF機能設定方法 —

セキュリティシステムのON・OFF設定(ON:システムが作動する状態、OFF:システムが作動しない状態)をする事が出来ます。車検時等、セキュリティを使用したくない場合に設定して下さい。初期設定(工場出荷時)はON設定になっています。



アンセットの状態ではエンジンキーをONの位置まで回す



強制解除スイッチを5秒間長押しする(設定が完了すればエンジンキーをOFFの位置まで戻す)

標準LED及びクリスタルスキャナーが2回点滅、サイレンが2回吹鳴すればOFF設定(システムが作動しない状態)



OFF設定

ON設定

標準LED及びクリスタルスキャナーが1回点滅、サイレンが1回吹鳴すればON設定(システムが作動する状態)

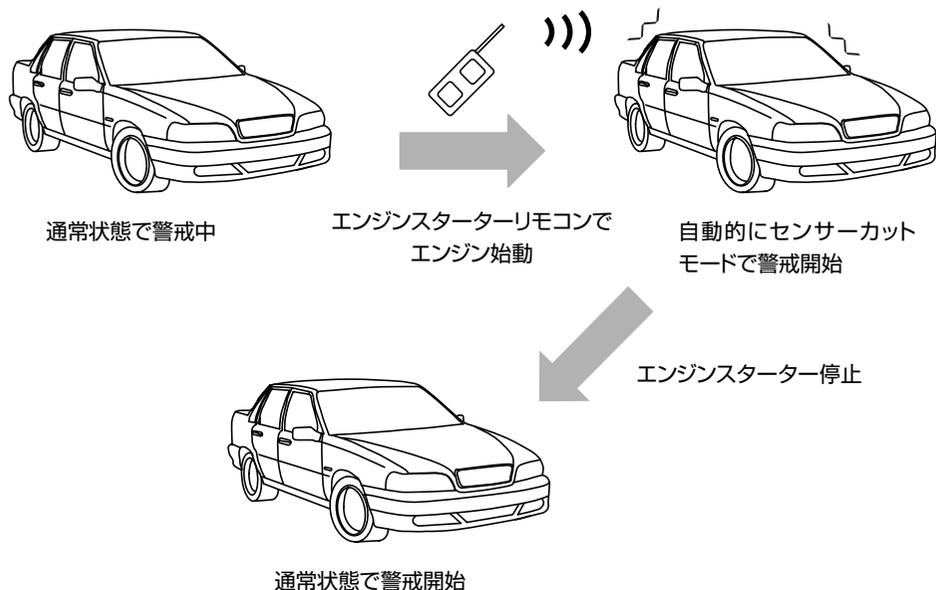


### ⚠ 注意

- ・上記設定はON→OFF→ON→OFFの繰り返しになります。(1回の操作でどちらかの設定になります。)
- ・必ずセキュリティがアンセット状態の時に操作を行って下さい。
- ・**サイレント機能設定(P13)がON設定の場合、設定時の確認音は鳴りません。**
- ・システムON・OFF機能設定がOFF設定の時、振動センサーの感度調整モードには出来ません。
- ・車両バッテリーを取り外されたり修理・点検等で本製品を取り外された場合は設定がリセットされますのでご注意ください。

### ■ エンジンスターター使用時のセキュリティ状態

エンジンスターターを使用されている場合、セキュリティが通常の警戒状態でセットされていても、エンジンスターターでエンジンを始動させると自動的にセンサーカットモード(ドアスイッチセンサーのみの警戒)に切り替わります。エンジンスターターが停止した場合は、自動的に通常の警戒状態になります。

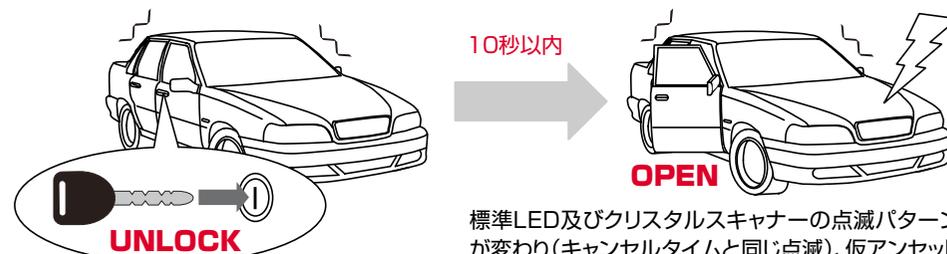


#### ⚠ 注意

- ・ センサーカットモードでセキュリティがセットされている場合、エンジン停止後もセンサーカットモードで警戒を続けます。
- ・ エンジン作動中(イグニッションON時)はセキュリティがセット出来ませんのでご注意ください。

### ■ エンジンスターター作動中にセキュリティをアンセット(解除状態)する

車両の特性上、エンジンスターター作動中は純正キーレスエントリーリモコンが利かない又はアンサーバック(ハザード点滅)をしない車種があり、通常のアンセット方法では解除出来ない場合があります。この場合は下記の操作を行い、セキュリティをアンセットして下さい。(下記説明はディップスイッチ1番がOFFに設定されている場合です。)



直接鍵でアンロックを行う(純正キーレスエントリーリモコンが利く場合はアンロックボタンを押す)

標準LED及びクリスタルスカナーの点滅パターンが変わり(キャンセルタイムと同じ点滅)、仮アンセット状態になりますのでアンロック後10秒以内にドアを開け、サイレンが2回吹鳴し、標準LED及びクリスタルスカナーが消灯したらアンセット完了(注意参照)

※ 仮アンセットとは…一定時間の待機状態(セキュリティが一切反応しない状態)の事であり、スタンバイ状態とは異なりますのでご注意ください。

#### 重要

ディップスイッチ1番がONに設定されている場合はアンロック後、ドアを開けると不正アンロック警報機能が働き警報が鳴りますのでご注意ください。(P18「不正アンロック警報機能について」参照)

#### ⚠ 注意

- ・ このアンセット方法はロック・アンロック入力の配線が必要になります。配線後は必ずメインユニットのディップスイッチ2番をONに設定して下さい。ロック・アンロック入力線の配線及び設定を行わないと正常に動作しませんのでご注意ください。(P17「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・ アンロック後、10秒以内にドアを開けなければ再びセキュリティがスタンバイになりますのでご注意ください。スタンバイに戻った場合はもう一度最初からやり直して下さい。(エンジンスターター作動中に純正キーレスエントリーリモコンが利く場合も同様です。)
- ・ エンジンスターター作動中に警報が鳴ってしまった場合は、エンジンスターターを強制停止させてからアンロック操作又はセキュリティの強制解除操作を行って下さい。
- ・ エンジンスターター作動中、ロック・アンロック時にハザードが連動して点滅する場合は通常のアンロック操作でセキュリティがアンセットになります。(P9「セキュリティをアンセットする(アンロック時にハザードが点滅する場合)」参照)
- ・ エンジンスターター作動中にセキュリティをアンセットされた場合はセキュリティの一部機能により履歴表示は行いません。
- ・ エンジンスターター停止後は通常のアンロック操作でセキュリティがアンセットになります。
- ・ サイレント機能設定をON設定されている場合、アンセット時の確認音は鳴りません。(P13「サイレント機能設定方法」参照)
- ・ エンジンスターター作動中にセキュリティがアンセット出来ない場合はエンジンスターター停止後又はエンジンスターターを強制停止した後に通常のアンロック操作でセキュリティをアンセットして下さい。

**重要**

ディップスイッチの設定変更は、必ずセキュリティアンセット時に行ってください。セキュリティセット時に設定変更されますと正常に作動しない恐れがあります。

メインユニット側面の保護カバーを外しディップスイッチを確認します。  
初期設定(出荷時)は全てOFFになっています。



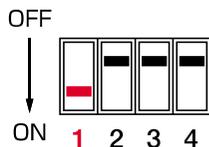
ディップスイッチ各部設定詳細

1番 仮アンセット機能設定

アンロック(ハザード入力が無い場合)後の仮アンセット状態を有効又は無効にするかを選択するスイッチです。

仮アンセット状態を無効にしたい場合、1番をONに設定して下さい。

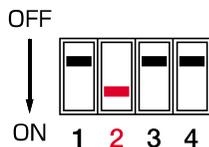
※仮アンセットとは…一定時間の待機状態(セキュリティが一切反応しない状態)の事で、スタンバイ及びアンセット状態とは異なりますのでご注意ください。



2番 ロック・アンロック入力設定

ロック・アンロック入力を認識させるか認識させないかを選択するスイッチです。

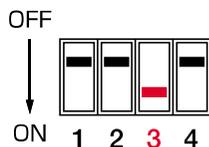
ロック・アンロック入力を認識させる場合は2番をONに設定して下さい。



3番 空圧センサー設定 (TP-230VAのみ)

空圧センサーを有効又は無効にするかを選択するスイッチです。

空圧センサーを無効にしたい場合、3番をONに設定して下さい。



4番 キャンセルタイム設定

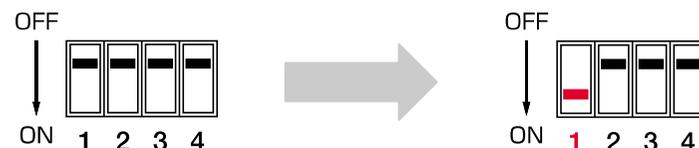
セット後のキャンセルタイムを30秒又は15秒にするかを選択するスイッチです。

セット後のキャンセルタイムを15秒に設定したい場合は4番をONにして下さい。



仮アンセット機能を無効(ディップスイッチ1番がONの状態)に設定している場合、不正アンロック警報機能が機能します。不正アンロック警報機能とはピッキング等で不正に開錠された場合、約30秒間の警報動作を行います。

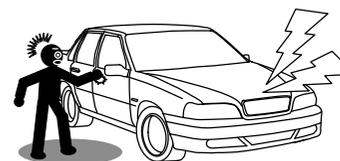
■ 不正アンロック警報機能設定方法



セキュリティがアンセット状態の時にメインユニット側面のディップスイッチ1番をONに設定し、仮アンセット機能を無効にする(P17「ディップスイッチ設定詳細」参照)

■ 不正にドアをアンロックされた時(上記設定変更後に有効)

セキュリティセット中、ドアをピッキング等により不正開錠された場合、不正アンロック警報機能が検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



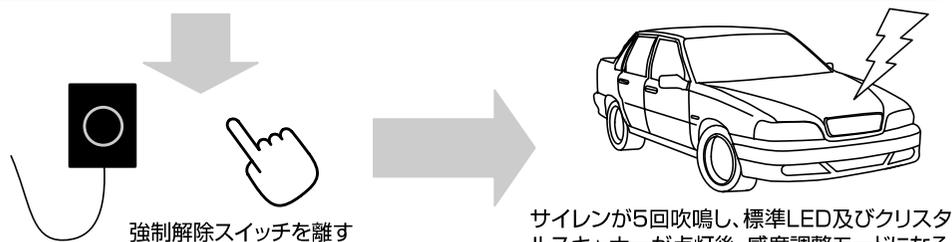
サイレンが約30秒間吹鳴  
標準LED及びクリスタルスキャナーが  
約30秒間高速点滅

⚠ 注意

- アンロック時にハザードが点滅しない車種及び直接鍵でアンロックした場合、上記設定(仮アンセット機能を無効)を行っている時、不正開錠として検知し警報しますのでご注意ください。この場合、セキュリティを解除するには警報中に強制解除を行ってください。(P20「強制解除方法」参照)
- 自動車盗難発生警報装置の新保安基準により1回のセットでセンサー(不正アンロック警報機能含む)の警報回数は10回までとなっております。(ドアスイッチセンサー、ボンネットピンスイッチ、弱衝撃の威嚇は除く)
- 不正アンロック警報機能による警報は履歴表示されません。

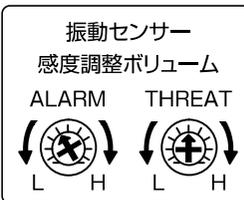
## — 振動センサー感度調整方法 —

セキュリティアンセット状態の時に強制解除スイッチを押しながらエンジンキーをキーシリンダーに差し込み、ONの位置まで回し直ぐにOFFの位置まで戻します。強制解除スイッチを離すと、サイレンが5回吹鳴し、標準LED及びクリスタルスキャナーが点灯したら感度調整モードとなります。この感度調整モードは感度調整をし易くする為のテストモードですのでこのモードに入らなくても感度調整は行えます。



車両に衝撃を与えながらTHREAT(威嚇)とALARM(警報)の感度調整をそれぞれ行います。左(L方向)に回すと感度が下がり、右(H方向)に回すと感度が上がります。反応時には威嚇の場合、サイレンが1回吹鳴します。警報の場合、サイレンが2回吹鳴します。車両に適した感度に調整を行って下さい。

感度調整モードでの感度調整後は強制解除スイッチを1回押して下さい。サイレンが2回吹鳴し、標準LED及びクリスタルスキャナーが消灯したら感度調整モード解除となります。

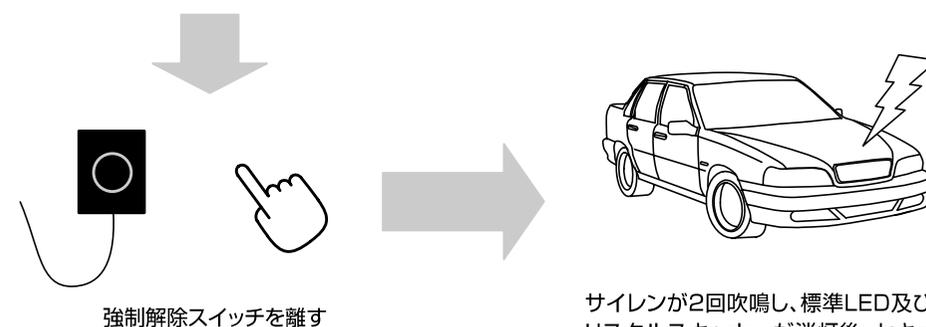
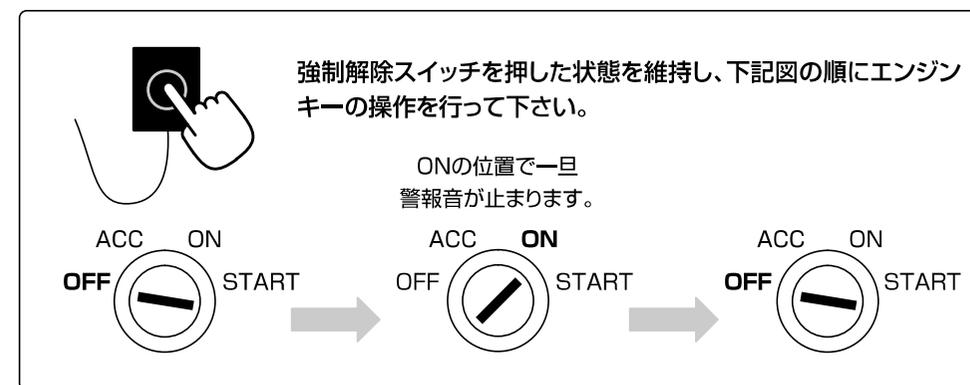
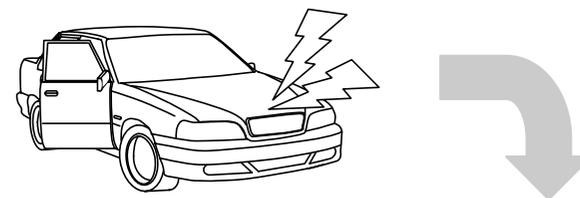


### ⚠ 注意

- ・サイレント機能設定をON設定されている場合、感度調整モードの突入時及び解除時のサイレン音は鳴りません。(反応時のサイレン音は鳴ります。P13「サイレント機能設定方法」参照)
- ・システムON・OFF機能設定をOFF設定にされている場合は感度調整モードは出来ません。(P14「システムON・OFF機能設定方法」参照)
- ・感度調整又はご使用の際は必ず車両のドア及び窓を完全に閉めて下さい。
- ・感度調整される際は必ず車両に衝撃を与えながら調整して下さい。
- ・取り付け位置又は、車種により感度に若干の誤差が生じる場合がありますので予めご了承下さい。
- ・感度を上げ過ぎますと誤報の原因になります。
- ・セキュリティの特性上、警報の感度は威嚇の感度よりも若干鈍くなっています。
- ・威嚇と警報が同時に検知した場合、警報が優先になります。
- ・この感度調整モードは振動センサーのみ有効です。他のセンサー(別売オプション含む)には使用出来ません。

## — 強制解除方法 —

警報中に強制解除スイッチを押しながらエンジンキーをキーシリンダーに差し込み、ONの位置まで回し直ぐにOFFの位置まで戻します。強制解除スイッチを離すと、サイレンが2回吹鳴し、標準LED及びクリスタルスキャナーが消灯するとセキュリティ解除となります。



### ⚠ 注意

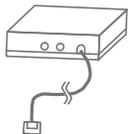
- ・手順を間違えた場合、再び警報が約30秒間吹鳴します。間違えた場合はもう一度最初からやり直して下さい。
- ・サイレント機能設定をON設定されている場合でも、アンセット時の確認音は鳴ります。(P13「サイレント機能設定方法」参照)

## 別売オプション紹介

### ■ 傾斜センサー (FOP-J100) 生産終了品

本体価格¥18,000 (税別)

JANコード T4950094135163

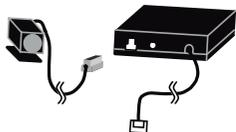


当社独自のフィルター回路設計とアルゴリズム解析を組み合わせた新型の傾斜センサーです。従来品同様、傾斜を記憶していますので傾斜地に駐車しても問題は無く、ジャッキアップ等の車両の傾きを検出し警報します。(反応角度は、車種によって異なる場合があります。)

### ■ サウンドセンサー (FOP-S100)

本体価格¥7,800 (税別)

JANコード T4950094135040



窓ガラスの異常を検出し警報します。独自のフィルター回路とアルゴリズム解析の組み合わせを採用する事で、高音(工具・器具の金属音)にはしっかり反応し、低音(いたずらや手のひら等)には反応し難くなりました。更に感度調整はアナログ方式を採用する事により、細やかな感度調整が可能となりました。

### ■ 人体センサー (FOP-M100)

本体価格¥9,800 (税別)

JANコード T4950094135064



車両への不正侵入を検出し警報します。TRAP採用の人体センサーは独自のフィルター回路とアルゴリズム解析の組み合わせを採用する事で、車両への不正侵入には確実に検出し警報します。更に従来の人体センサーに比べてコンパクト化に成功(当社比)しました。

### ■ ボンネットピンスイッチ (FOP-BP600)

本体価格¥1,800 (税別)

JANコード T4950094135125



ボンネットの不正開放を検出し警報します。弊社のボンネットピンスイッチは材質にステンレスを採用しておりますので鑄鉄製に比べて防食・防錆に優れています。

### ■ クリスタルスカナー (FOP-CR300/CB300/CR350/CB350) 生産終了品

本体価格¥3,800 (税別)

(FOP-CR300) JANコード T4950094135224  
(FOP-CB300) JANコード T4950094135217



FOP-CR300/CB300

セキュリティ作動時に文字が浮き上がり威嚇点滅します。  
LEDの色は赤(FOP-CR)と青(FOP-CB)の2色をご用意しました。



FOP-CR350/CB350

(FOP-CR350) JANコード T4950094135279  
(FOP-CB350) JANコード T4950094135286

## トラブルシューティング1

修理を依頼される前に、下記の点検・確認をお願い致します。

症状	考えられる原因	処置方法	参照
純正キーレスエントリーリモコンが利かない	純正キーレスエントリーリモコンの電波は車両に届いていますか?	純正キーレスエントリーリモコンの電波が車両に届く範囲で操作を行って下さい。	
	純正キーレスエントリーリモコンの電池が消耗していませんか?	純正キーレスエントリーリモコンの電池を新品に交換して下さい。	
	純正キーレスエントリーリモコンが故障していませんか?	純正キーレスエントリーリモコンを修理して下さい。	
	ドアが開いていませんか?	ドアを閉めて下さい。	
	エンジンが作動中ではありませんか?	エンジンを停止してから操作を行って下さい。	
	車両バッテリーが上がっていませんか?	車両バッテリーを充電して頂くか新品のバッテリーに交換して下さい。	
ロックしてもセキュリティがセッット出来ない	常時電源・アースポイントは確実に接続されていますか?	常時電源・ボディーアースを確認して下さい。	取付説明書③
	メインハーネス常時電源のヒューズが切れていませんか?	同じアンペア数のヒューズと交換して下さい。	
	ワンタッチ電源のヒューズが切れていませんか?	同じアンペア数のヒューズと交換して下さい。	
	ワンタッチ電源が正しく取り付けられていますか?	ワンタッチ電源を正しく取り付けして下さい。	取付説明書①
	メインコネクタが抜けていませんか?	メインコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書⑩
	取付時にメインハーネスが断線していませんか?	断線箇所を直して下さい。	
	ロック・アンロックに連動してハザードが点滅する場合、ハザード入力線は確実に接続されていますか?	ハザード入力線を確認して下さい。	取付説明書⑥
	ロック・アンロックに連動してハザードが点滅しない車種ではありませんか?	ロック・アンロック入力線を配線し、メインユニットディップスイッチ2番をONIに設定して下さい。	取付説明書⑦
	ロック・アンロック入力線は確実に接続されていますか?	ロック・アンロック入力線を確認して下さい。	取付説明書⑦
	メインユニットディップスイッチ2番が正しく設定されていますか?	メインユニットディップスイッチ2番を正しく設定して下さい。	P17
エンジンが作動中又は、ターボタイマーが作動中ではありませんか?	エンジン及びターボタイマーを停止してからロック操作を行って下さい。	P5	
感度調整モードになっていませんか?	感度調整モードを解除してからロック操作を行って下さい。	P19	
システムON・OFF機能設定がOFF設定になっていませんか?	システムON・OFF機能設定を確認し、ON設定にして下さい。	P14	
標準LED及びクリスタルスカナーが光らない	標準LED線及びクリスタルスカナー線が断線していませんか?	断線箇所を直して下さい。	

## - トラブルシューティング2 -

修理を依頼される前に、下記の点検・確認をお願い致します。

症状	考えられる原因	処置方法	参照
標準LED及びクリスタルスキャナーが光らない	標準LEDのコネクタが抜けていませんか?	標準LEDのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書②
	標準LEDの端子極性が間違っていますか?	標準LEDの端子極性を確認して下さい。	取付説明書②
	クリスタルスキャナーの配線の極性が間違っていますか?	クリスタルスキャナーの配線を確認して下さい。	取付説明書②
ロック・アンロックしてもサイレンからセット・アンセット音が鳴らない	サイレン線が断線していませんか?	断線箇所を直して下さい。	
	サイレンのコネクタが抜けていませんか?	サイレンのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書①
	サイレンの端子極性が間違っていますか?	サイレンの端子極性を確認して下さい。	取付説明書①
	サイレント機能設定がON設定になっていませんか?	サイレント機能設定を確認し、OFF設定にして下さい。	P13
センサーカットモードでセキュリティがセット出来ない	強制解除スイッチのコネクタが抜けていませんか?	強制解除スイッチのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書⑨
	強制解除スイッチのハーネスが断線していませんか?	断線箇所を直して下さい。	
	強制解除スイッチを押してから30秒が経過していませんか?	強制解除スイッチを押してから30秒以内にロック操作を行って下さい。	P6
	エンジンが作動中又は、ターボタイマーが作動中ではありませんか?	エンジン及びターボタイマーを停止してからセンサーカットモードへの操作を行って下さい。	P6
	システムON・OFF機能設定がOFF設定になっていませんか?	システムON・OFF機能設定を確認し、ON設定にして下さい。	P14
ドアを開けても警報しない	セキュリティがセットされていますか?	セキュリティのセット状態を確認して下さい。	
	セキュリティがキャンセルタイム中ではありませんか?	セキュリティがスタンバイである事を確認して下さい。	P5
	ドアスイッチ線が確実に接続されていますか?	ドアスイッチ線を確認して下さい。	取付説明書⑤
	ドアスイッチ線が断線していませんか?	断線箇所を直して下さい。	
	ダイオードの方向は適切ですか?	ダイオードの方向を確認して下さい。(帯のある方が車両ドアスイッチ側)	取付説明書⑤
	空圧センサー(TP-230VAのみ)が無効(メインユニットディップスイッチ3番がON)になっていませんか?	メインユニットディップスイッチ3番をOFFに設定して下さい。	P17
	仮アンセット機能が有効(メインユニットディップスイッチ1番がOFF)に設定されており、鍵でアンロックしてドアを開けていませんか?	ドアを開けてから何もせずに約10秒経過すれば警報します。すぐに警報させたい場合はメインユニットディップスイッチ1番をONに設定し、仮アンセット機能を無効にして下さい。	P17

## - トラブルシューティング3 -

修理を依頼される前に、下記の点検・確認をお願い致します。

症状	考えられる原因	処置方法	参照
警報音が鳴らない又は、音割れ及び音が小さい	サイレン線が断線していませんか?	断線箇所を直して下さい。	
	サイレンのコネクタが抜けていませんか?	サイレンのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書①
	サイレンの端子極性が間違っていますか?	サイレンの端子極性を確認して下さい。	取付説明書①
	サイレン内部に水が浸入していませんか?	セキュリティの使用を直ちに中止しサイレンを新品に交換して下さい。	
スタンバイと同時に警報が鳴る又は、勝手に警報が鳴る	ドアが開いていませんか?	ドアを閉めて下さい。	
	窓が開いていませんか?	窓を閉めて下さい。	
	メインコネクタを差し込んだ後、各センサーのコネクタが抜けていませんか?	各コネクタを差し込み直し、最後にメインコネクタを差し込んで下さい。	取付説明書各項目
	立体駐車場ではありませんか?	センサーカットモードでご使用下さい。	P6
車両に衝撃を与えても振動センサーが反応しない又は、過剰に反応する	センサーユニットと固定位置の間にスポンジ等の衝撃緩衝材がありませんか?	衝撃緩衝材の無い場所に固定又は衝撃緩衝材を剥がして下さい。	取付説明書⑩
	車両金属部に固定されていますか?	車両金属部に固定して下さい。	取付説明書⑩
	センサーユニットが車両中心部付近以外に固定されていませんか?	車両中心部付近に固定して下さい。	取付説明書⑩
	センサーユニットが不安定な状態ではありませんか?	設置面の汚れや油分を完全に取り除き付属の両面テープで確実に固定して下さい。	取付説明書⑩
	センサーユニットのコネクタが抜けていませんか?	メインコネクタを抜き5秒以上経過してからセンサーユニットのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書⑩
	エンジンが作動中ではありませんか?	エンジン作動中はセンサーカットモードが動き、ドアスイッチセンサー以外は反応しませんのでエンジンを停止して下さい。	
	セキュリティがスタンバイ状態になっていませんか?	スタンバイ状態になってから確認して下さい。	P5
	センサーカットモードでセキュリティがセットされていませんか?	通常のロック操作でセキュリティをセットして下さい。	P5
THREAT(威嚇)又は、ALARM(警報)の感度は適切ですか?	適切な感度に調整して下さい。	P19	
警報回数が10回を超えていませんか? ※	一度アンロック操作でセキュリティをアンセットして下さい。	P9 P10	
空圧センサーが反応しない又は過剰に反応する(TP-230VAのみ)	メインユニットディップスイッチ3番がONになっていませんか?	メインユニットディップスイッチ3番をOFFにして下さい。	P17
	ドア及び窓が開いていませんか?	ドア及び窓を完全に閉めて下さい。	

※自動車盗難発生警報装置の新保安基準により1回のセットでセンサー(不正ドアアンロック検知機能含む)の警報回数が定められています。  
(ドアスイッチセンサー、振動センサーの威嚇、感度調整モード時は除きます。)

## - トラブルシューティング4 -

修理を依頼される前に、下記の点検・確認をお願い致します。

症状	考えられる原因	処置方法	参照
ミュートが出来ない	ドアが開いていませんか?	ドアを開けて下さい。	取付説明書⑦
	ハザード入力線及びロック・アンロック入力線を接続していますか?	ハザード入力線及びロック・アンロック入力線を確認して下さい。	
	メインユニットディップスイッチ2番がOFFになっていませんか?	メインユニットディップスイッチ2番をONIにして下さい。	P17
	エンジンが作動中又はエンジンスターター作動中ではありませんか?	エンジン及びエンジンスターターを停止してからミュートを行って下さい。	
アンロックしてもセキュリティがアンセット出来ない	ロック・アンロックに連動してハザードが点滅する場合、ハザード入力線は確実に接続されていますか?	ハザード入力線を確認して下さい。	取付説明書⑥
	ロック・アンロック入力線は確実に接続されていますか?	ロック・アンロック入力線を確認して下さい。	取付説明書⑦
	ロック・アンロック入力線を配線している場合、メインユニットディップスイッチ2番がOFFになっていませんか?	メインユニットディップスイッチ2番をONIに設定して下さい。	P17
	仮アンセット機能設定が無効(メインユニットディップスイッチ1番がON)になっていませんか?	メインユニットディップスイッチ1番をOFFに設定して下さい。	P17
	ロック・アンロック時にハザードが連動して点滅しない場合で尚且つ仮アンセット機能設定が有効(メインユニットディップスイッチ1番がOFF)になっている場合、アンロック後、10秒以上経過していませんか?	アンロック後、10秒以内にドアを開け更に10秒以内にエンジンキーをONの位置まで回して下さい。	P10
		エンジン作動中又はエンジンスターター作動中の場合はアンロック後、10秒以内にドアを開けて下さい。	P16
アンロック後、ドアを開けると一瞬だけ警報が鳴る	アンロック後、すぐにドアを開けていませんか?	セキュリティのアンセット音が吹鳴した後又は、アンロック時のハザード点滅後にドアを開けて下さい。	
強制解除が出来ない	強制解除スイッチのコネクタが抜けていませんか?	強制解除スイッチのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書⑨
	強制解除スイッチのハーネスが断線していませんか?	断線箇所を直して下さい。	
	強制解除の手順が間違っていますか?	正しい手順で強制解除を行って下さい。	P20
	エンジンが作動中ではありませんか?	エンジンを停止してから強制解除を行って下さい。	
感度調整モードにならない	強制解除スイッチのコネクタが抜けていませんか?	強制解除スイッチのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書⑨
	強制解除スイッチのハーネスが断線していませんか?	断線箇所を直して下さい。	
	感度調整の手順が間違っていますか?	正しい手順で感度調整を行って下さい。	P19
	エンジンが作動中ではありませんか?	エンジンを停止してから感度調整を行って下さい。	

## - トラブルシューティング5 -

修理を依頼される前に、下記の点検・確認をお願い致します。

症状	考えられる原因	処置方法	参照
感度調整モードにならない	セキュリティがセット状態ではありませんか?	セキュリティをアンセットしてから感度調整を行って下さい。	P9~P10・P16
	システムON・OFF機能設定がOFF設定になっていませんか?	システムON・OFF機能設定を確認し、ON設定にして下さい。	P14
メインユニットディップスイッチの設定が反映されない	セキュリティがセット状態ではありませんか?	セキュリティをアンセットしてからメインユニットディップスイッチの設定変更を行って下さい。	P17
サイレント機能設定が出来ない	強制解除スイッチのコネクタが抜けていませんか?	強制解除スイッチのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書⑨
	強制解除スイッチのハーネスが断線していませんか?	断線箇所を直して下さい。	
	設定の手順が間違っていますか?	正しい手順で設定を行って下さい。	P13
システムON・OFF機能設定が出来ない	強制解除スイッチのコネクタが抜けていませんか?	強制解除スイッチのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書⑨
	強制解除スイッチのハーネスが断線していませんか?	断線箇所を直して下さい。	
	設定の手順が間違っていますか?	正しい手順で設定を行って下さい。	P14
不正アンロック警報機能が働かない	仮アンセット機能設定が有効(メインユニットディップスイッチ1番がOFF)になっていませんか?	メインユニットディップスイッチ1番をONIに設定して下さい。	P17 ~ P18

## - 修理・点検依頼書兼要望書 表面 -

**修理・点検依頼書** 製品の修理や点検等を依頼される場合、下記必要事項を記入の上製品及び保証書と一緒に弊社までお送り下さい。記入漏れがあると修理に時間が掛かる場合がございますので必ず記入して下さい。

品番・製品名	シリアルNo.	購入日	年 月 日
メーカー・車種名	型式	年式	年 月
お客様のお名前	TEL	FAX	
お客様のご住所 〒			

不具合症状について詳しく記入して下さい。(代理店様の場合は店舗名・住所・電話番号・担当者名も記入して下さい。) 又、書ききれない場合や弊社にご要望、ご意見等が御座いましたら裏面もご使用下さい。

---



---



---



---



---

— 仕様 —

本体ユニット		サイレン	
電源電圧	DC+12V/24V・ボディーアース	音圧	MAX 120db/m
動作温度範囲	-40℃~+85℃	外形寸法(mm)	約H58×W58×D68 (突起部含まず)
外形寸法(mm)	約H126×W75×D30 (突起部含む)	質量	約144g (台座・ハーネス含む)
質量	約116g	<b>標準LED</b>	
保護等級	IP40	外形寸法(mm)	約H5×W5×D14
消費電流(待機時) (DC+12V車取付時)	約7.7mA (TP-230V) 約8.4mA (TP-230VA)	質量	約6g (ハーネス含む)
消費電流(警報時)	約500mA	<b>クリスタルスキャナー</b>	
<b>振動センサー</b>		外形寸法(mm)	約H30×W66×D6 (台座含まず)
動作温度範囲	-40℃~+85℃	質量	約28g (台座・ハーネス含む)
外形寸法(mm)	約H51×W36×D18 (突起部含む)	<b>強制解除スイッチ</b>	
質量	約41g (ハーネス含む)	外形寸法(mm)	約H15×W22×D9
消費電流(待機時)	約1mA	質量	約22g (ハーネス含む)

— 修理・点検依頼書兼要望書 裏面 —

**要望書** 弊社にご要望、ご意見等が御座いましたら本要望書にご記入の上、弊社までお送り下さい。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

— 基本操作・各設定方法早見表 —

	操作内容	標準LED(クリスタルスキャナー)とサイレンの動作内容	参照
セキュリティをセッとする	ドアロックを行う	標準LED(クリスタルスキャナー):点滅(キャンセルタイム→スタンバイ) サイレン:1回吹鳴	P5
セキュリティをセンサーカットモードでセッとする	強制解除スイッチを1回押し30秒以内にドアを閉めてからドアロックを行う	標準LED(クリスタルスキャナー):点滅(センサーカットモード受付→キャンセルタイム→スタンバイ) サイレン:3回吹鳴	P6
セキュリティをアンセッとする	<アンロック時にハザードが点滅する> ドアアンロックを行う	標準LED(クリスタルスキャナー):消灯(警報履歴があれば点滅) サイレン:2回吹鳴	P9
	<アンロック時にハザードが点滅しない> ドアアンロックを行い10秒以内にドアを開け、更に10秒以内にエンジンキーをONの位置まで回す	標準LED(クリスタルスキャナー):消灯 サイレン:2回吹鳴	P10
	<エンジンスターター取り付け車> エンジンスターターでエンジン始動後ドアアンロックを行い10秒以内にドアを開ける	標準LED(クリスタルスキャナー):消灯 サイレン:2回吹鳴	P16
ミュート操作を行う	警報中にロック(アンロック)ボタンを押す(特定条件を満たしている時のみ有効)	標準LED(クリスタルスキャナー):点滅 サイレン:消音	P12
サイレント機能を設定したい	アンセッ時に強制解除スイッチを5秒間長押しする	<サイレント機能ON設定時> 標準LED(クリスタルスキャナー):2回点滅 サイレン:無音 <サイレント機能OFF設定時> 標準LED(クリスタルスキャナー):1回点滅 サイレン:1回吹鳴	P13
システムON・OFF機能を設定したい	アンセッ時にエンジンキーをONの位置まで回し、強制解除スイッチを5秒間長押しする	<システムOFF設定時> 標準LED(クリスタルスキャナー):2回点滅 サイレン:2回吹鳴 <システムON設定時> 標準LED(クリスタルスキャナー):1回点滅 サイレン:1回吹鳴	P14
振動センサーの感度を感度調整モードに入れて調整したい	アンセッ時に強制解除スイッチを押した状態のままエンジンキーをOFF→ON→OFF操作を行い強制解除スイッチを離す 調整後は強制解除スイッチを1回押し	<感度調整モード突入時> 標準LED(クリスタルスキャナー):点灯 サイレン:5回吹鳴 <感度調整モード解除時> 標準LED(クリスタルスキャナー):消灯 サイレン:2回吹鳴	P19
強制解除をしたい	警報中に強制解除スイッチを押した状態のままエンジンキーをOFF→ON→OFF操作を行い強制解除スイッチを離す	標準LED(クリスタルスキャナー):消灯(警報履歴があれば点滅) サイレン:2回吹鳴	P20

1.保証書

保証書は必ず「お買い上げ年月日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取って頂き、内容をよくお読みの上、大切に保管して下さい。

付属のアンケートハガキはお手数ですがご返送願います。

2.保証期間中の修理

保証期間中は内部機構を触らずに、お買い上げの販売店にご相談下さい。保証書の記載内容により、無償修理致します。

3.保証期間が切れている時は

保証期間が切れている時は、お買い上げの販売店にご相談下さい。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有償修理致します。

4.修理依頼される時は

修理を依頼される時は、下記の事項を確認しお買い上げの販売店又は、弊社にご相談下さい。

- ①商品名、品番、シリアルNo
- ②故障の内容(どの様な症状なのか、いつ頃から等出来る限り具体的に詳しくお知らせ下さい。)
- ③お買い上げ年月日及び販売店名
- ④お客様のお名前、ご住所連絡先等

5.アフターサービスについてご不明な場合

修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店又は、弊社にご相談下さい。

※故障・誤動作により本製品が使用できなかった事による付随的損害(代品貸し出し等も含む)の保証につきましては弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

6.無償保証規定

①本製品は高度な品質管理を行っておりますが、保証期間中に取扱説明書等の注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、無償にて交換又は、修理させていただきますのでお買い上げの販売店又は、弊社まで保証書を添えてお申し出下さい。

※保証書の無い場合には保証対象外となりますのでご了承下さい。

- ②保証期間内であっても次の様な場合には有償になります。
  - ・保証書の提示が無い場合又は、保証記載内容に不備のある場合。
  - ・商品取扱上の誤り、不注意による故障及び、損傷。
  - ・不当な修理及び改造による故障及び、損傷。
  - ・事故による故障及び、損傷。
  - ・自然災害による故障及び、損傷。
  - ・消耗品の交換(付属部品等)
  - ・保証書に、お買い上げ年月日、販売店名等の所定の記入事項の無い場合又は、文字を書き換えられた場合。
  - ・故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。

③保証規定は日本国内において国産車取付時のみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

④ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店又は、弊社にお問い合わせ下さい。